

放課後等デイサービス キッズボンド柳津 自己評価表

調査期間：2022年12月～2023年2月

回答職員数：8名

2022年度版

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			訓練指導室は運動療法をするには適正な広さであるが、2階で静かに学習したり、分散して公園に行ったりしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			原則として、児童2.5人に対し1名の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	5	玄関前に階段がある。訓練指導室からトイレまではバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			毎日、ミーティングを実施しており職員全員から意見を聞いている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者へ評価表を配布しているほか、保護者とLINEや電話で密に連絡を取り、ニーズに応えた業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			年に1度必ず自己評価を行い、HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	1	市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		ZOOMによる研修・対面での研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			Vineland-IIやASISTを実施し、専門職のスーパーバイズを受けてから支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		Vineland-IIやASISTを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			運動療育を基本とするが、個々の児童に合わせた活動を実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	8			平日と学校休業日では支援内容を変えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			支援計画に基づき、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			受け入れ前ミーティングは毎日実施し、支援内容や役割分担を明確にしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		ミーティングを必ず実施し、共有した内容を次回の支援に役立てている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			支援記録はその日のうちに記録している。また、それを共有し改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		原則、半年に1度モニタリングを行っている。必要であれば前倒しで実施する。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			製作、食育、お出かけ、地域交流を柱とし支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		サービス担当者会議を開催していただいていない。もっと行政に働きかけていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			保護者とは送迎時、連絡帳やLINEでのやり取り、電話等を通して、学校とは必要に応じて連絡を取り、適切に対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	2	現在、該当児なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		児童発達支援事業所とは連絡を密に取り、情報共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1	学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童生徒は、現在のところいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		児童発達支援センターから児童の情報共有や助言をもらっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	4	現在のところ、健常児と一緒に活動できていないので今後取り組みたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		5	3	コロナが収束したら、積極的に参加したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			定期的な保護者との面談や日々の連絡を通じ、共通理解を持っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2		定期的な保護者との面談や日々の連絡を通じ、レスパイトケアを実施しているがまだ十分ではない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に懇切丁寧に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			事業所内で相談に応じている。時には、家庭を訪問し助言している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	6	新型コロナウイルスにより、保護者会は開催できていない。今後、考えていきたい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		苦情があった場合には、担当指導員が管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			通信の発行、Instagramやフェイスブックの発信を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			書類は鍵付書庫で厳重に保管、破棄する場合はシュレッダーにかけている。HP上の写真にはモザイクをかけている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			あいまいな表現を使わず、場合によっては視覚化して意思の疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	1	コロナ渦で実施できていない。地域住民が参加できるイベントを計画して行っていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			書類にして周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		コロナが収束したら、地元の消防署に来ていただいて、避難訓練等を行っていきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		研修は定期的に行っているが、その中のテーマとして数回取り上げている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			身体拘束について保護者に説明し、契約時に同意書に署名していただいている。その旨を運営規定に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		食育材料については母親にその都度確認をし、市販菓子についても購入前に確認するなど対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事業所内だけでなく、グループ全体で共有している。